

わーく&らいふ

令和7年度第9号(通巻109号) 3月18日発行

今回は小学部一般学級のキャリア教育の取組について紹介します。

【シリーズ】キャリア教育 「小学部一般学級の取組」

はたらく生活に向けて必要な力は、日々の暮らしの中で培われるものが多く、幼少期からよりよい体験と成功体験の積み重ねが重要です。そこで、小学部段階では次に挙げる4つの視点を踏まえたキャリア教育を実践しています。

- ① 暮らしの中で毎日行う、身の回りのことに自分で取り組むこと。
(食事・着替え・排泄・入浴・整容・清潔など)
- ② あいさつ・返事などの対人関係の基礎を身に付けること。
- ③ 自分でできることを増やすこと。
- ④ やる気をもって意欲的に活動すること。

今号では、この4つの視点に沿った各学年の学習を紹介します。

1年生 「ハッピーなあいさつをしよう」

特別の教科道徳の授業の中で、挨拶について学習を行いました。自分にとっても相手にとっても気持ちのいい挨拶について学習した後、登校時に挨拶運動を実施しました。子供たちは、大きな声で挨拶をしたり、相手を見て手を合わせたりして、気持ちのいい挨拶をすることができました。学習後は、学校生活の中でも自分から挨拶をする姿が見られます。



2年生 「おいしかったね、歯磨きしよう！」

毎日、給食後に歯磨きをしています。自分で磨く、教師と時計を確認しながら磨くなど取り組み方は様々ですが、頑張って取り組んでいます。この日は朝から公園へ行き、体をたくさん動かし、お弁当を食べるなどの楽しい活動をしましたが、学校に戻ってからも一列に並んで鏡を見ながらしっかりと歯磨きができました。



3年生 「しごとってなに？」

校外学習で「トヨタカローラ熊本荒尾店」に行きました。はじめに、働くうえで大事なことについて話を聞いたり、自分たちで考えた質問をしたりしました。その後、整備士のユニフォームに着替えて、仕事体験を行いました。タイヤのボルトを工具を使って着脱したり、車の下へ入り修理箇所に見立てたバイキンマンを探したりしました。実際に作業体験を行い、整備士の仕事について知ることができました。



4年生 「あらおのまちヘイッテQ! ぱーと2」

生活単元学習で、産交バスに乗って「荒尾市立図書館」と「マクドナルド荒尾ゆめタウンシティモール店」に行き、施設や働いている方々を見学し、壁新聞にまとめました。マクドナルドでは、お店の方が働かれている姿を見て、ハンバーガーを作る以外にも、「食べ終わったトレーを重ねる」「ゴミを集めて捨てる」等の仕事があることに気付くことができました。見学の後には、マクドナルドで好きなメニューを購入し、買い物学習もできました。仕事について考える良い機会となりました。



5年生 「はたらくじぶん、パワーアップ！」

生活単元学習で、マクドナルドのマックアドベンチャー（お仕事体験）をしました。実際にマクドナルドの制服を着て、ハンバーガーやポテトを作りました。手順通りに作業することだけでなく、礼儀作法や、衛生面で気を付けることなど、働くうえで大切なことを体験できました。今回の体験を通して、働くことの楽しさや達成感、大変なことなど多くのことを知ることができました。



6年生 「しゅうがくりょこう〜くまもと・あそのたび〜」

修学旅行では、阿蘇ファームランド（健康トレーニング館）、国立阿蘇青少年交流の家、阿蘇くまもと空港等の施設を訪れました。健康トレーニング館ではサーキットで思いっきり体を動かし、バイキングの昼食を楽しみました。空港のくまもとSDGsみらいパークでは、地球のために自分たちが何ができるのかを考えました。そらよかつターでは、貸し切りバスに乗って空港の滑走路をぐるっと1周しました。実際に社会を支える施設や、そこで働く人々の姿を直接見たことで、職業への視野が広がり、将来を考える有意義な修学旅行となりました。



<編集後記>小学部にとってはまだ先の話のようも思われますが、日々の小さな積み重ねこそが確かな土台となります。卒業生や保護者の方々の「早めの準備が大切だった」という話から、今後も一人ひとりの実態に合わせ、日々の活動で丁寧に育んでいきたいと思えます。（井福）